ボヴァリー夫人（1989/2009）

SPASI I SOKHRANI
SAVE AND PROTECT
MADAME BOVARY

メディア 映画
ジャンル ドラマ　文芸
製作国 ロシア
色彩 Color
時間 128分
初公開日 2009/10/03
公開情報 パンドラ

【キャッチコピー】
あの日から
背徳の恋に落ちた…

【解説】
　フローベールによるフランス文学の古典をロシアの鬼才アレクサンドル・ソクーロフ監督が映画化。満たされない結婚生活の中で、背徳の恋と浪費に溺れていく一人の女性の悲劇的な運命を、官能描写を織り交ぜつつも冷徹な眼差しで描き出してゆく。1989年製作の本作は、20年後の2009年10月に、監督自ら再編集したディレクターズ・カット版にて本邦初上映が実現。年の離れた町医者シャルル・ボヴァリーと結婚したエマ。しかし、結婚生活への淡い憧れはほどなく崩れ去り、いつしか単調で退屈な毎日にすっかりふさぎ込んでいく。やがてエマは刺激を求めて夫以外の男性との情事を重ねていくが…。

【クレジット】

監督	アレクサンドル・ソクーロフ	Aleksandr Sokurov
原作	ギュスターヴ・フローベール	Gustave Flaubert
脚本	ユーリー・アラボフ	Yuri Arabov
撮影	セルゲイ・ユリズジッキー	Sergei Yurizditsky
衣装	クリスチャン・ディオール	
音楽	ユーリィ・ハーニン	Yuri Khanin
出演	セシル・ゼルヴダキ	Cécile Zervudaki
	ロベルト・ヴァープ	Robert Vaap
	アレクサンドル・チェレドニク	Aleksandr Cherednik
	ヴィアチェスラフ・ロガヴォイ	Vyacheslav Rogovoy

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.